

学校運営協議会 議事録

学校名	大阪府立大阪南視覚支援学校
校長名	松村 高志

開催日時	令和2年11月26日(木) 14:00~16:10
開催場所	大阪府立大阪南視覚支援学校 会議室
出席者(委員)	委員長、副委員長、委員2名
出席者(学校)	校長、教頭2名、事務部長、課長補佐、首席3名、部主事4名、教務部長1名
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度 大阪府立大阪南視覚支援学校 運営協議会 委員名簿 (資料1)</li> <li>・ 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 実施要項 (資料2)</li> <li>・ 令和2年度 第2回 学校運営協議会 授業見学 (資料3)</li> <li>・ 令和2年度 学校経営計画及び学校評価 (資料4)</li> <li>・ 令和3年度 学級編制について (資料5)</li> </ul>
備考	

議題等(次第順)
<p>【協議題】</p> <p>(1) 学校運営協議会の実施要項の改正について(教頭)</p> <p>(2) 授業見学について</p> <p>(3) 令和2年度学校経営計画及び学校評価の取組み状況について(校長)</p> <p>【報告題】</p> <p>(1) 学校行事、各学部の概況について(教頭、各部主事)</p> <p>(2) 令和2年度 学級編制について(教務部長)</p>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>【協議】</p> <p>(1) 学校運営協議会の実施要項の改正について(教頭)</p> <p>新型コロナウイルス感染防止に伴う「オンライン会議システムを利用しての会議出席等」に関する規定の追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン会議システムを利用して会議に出席する場合、可能な限り事前に調整を行い機器の設定等もサポートする。どうしても困難な場合は、欠席でも止むを得ない。</li> <li>・ 会議参加人数等は、過半数以上の出席が必要である。</li> </ul> <p>第10条に「協議会は、委員の過半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。」との記載がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改正案(資料2)が承認された。</li> </ul>

## (2) 授業見学について

見学授業 (14:25~15:15)

- ・ 理療科 2年基礎実習「鍼麻醉」
  - ・ 理療科 1年解剖学「感覚器系 視覚器」
  - ・ 柔道整復科 1年 柔道整復実技「体表解剖」
  - ・ 高等部 体育「ブラインドテニス」
  - ・ 高等部 家庭「飾りづくり」
- ・ 授業の様子は日頃見られない光景なので感銘した。専修部の授業は iPad を活用していた。電子黒板の使用や白黒反転した画面など ICT 活用した授業が増えてきている。来年度からは、タブレットなどが支給される状況になってきている。また、骨模型にシールを貼ってわかりやすく説明することなどは、視覚障がい者への教育に有用で、良いアイデアである。
- ・ 鍼麻醉の授業は、座学の振り返りをしながら行っていた。解剖学の授業と同様に、生徒がリラックスし和気あいあいとしていて、質問もしやすい雰囲気であった。その反面、専門学校などと比べて、緊張感がやや低い印象も受けた。柔整科は実技試験であったため、緊張感があった。専修部は、将来につながる場である。
- ・ 生徒数が少ないと、生徒同士の高め合い・仲間づくり・競争などの部分はどうなっているのか知りたい。1年は和気あいあいとして質問しやすい雰囲気は大切である。3年になり国家試験が近づいてくると自然と緊張感がでてくる。また、臨床実習に出ると自然と患者に向き合う姿勢が出てくる。人数が極端に少ないクラスでは、高め合うという部分については難しい部分もある。
- ・ 高等部の授業は、生徒への安全面が配慮され、先生方の声掛けでうまく乗せて伸ばすという雰囲気が感じられた。・ 高等部の家庭科は、クリスマスツリーに飾りをつけてみんなが楽しそうであった。高等部と専修部は指導の仕方の質の違いを感じた。先日、綿繰り体験を行うことができたので綿花飾りつけに綿花も使用したい。3学期の作品展でも飾られる。
- ・ 高等部の体育については、視覚障がい者のスポーツは地域で行う場所がないため課題であるが、学校が様々なスポーツに触れる機会を設けてくれておりありがたい。ブラインドテニスは初めて見たが、生徒が良く音を聞いていて面白いと思った。ダブルスで他校の生徒と練習試合などでもできるのではないかな。
- ・ 学校の校舎は新しく設備が整っている。幼稚部から子どもが通っているが、個々に合わせた教育をしてくれている。いい学校だと思っている。もっと生徒数が増えたらいいと感じている。

## (3) 令和2年度学校経営計画及び学校評価の取組み状況について (校長)

- ・ ICTの活用について

### <小学部>

沖縄盲学校とオンラインでつながったの合同授業を実施。道徳、国語、算数を双方向形式で授業している。児童がすごくのびているのを感じる。子どもの学び・育ちが大きいと感じている。今後、できることを広げていけたらと考えている。

### <中学部>

臨時休業中にオンライン授業を行った。呼吸器障がいのある生徒に対してもオンライン授業を

実施した。

<高等部>

パリ盲学校とビデオレターの交換を検討している。パリ盲学校との交流は、基本的には英語でやることになっている。パリ盲学校の近くに博物館がある。そういう映像などをもってこられれば面白い。

新型コロナはマイナスだが、オンライン・ICTの活用がすすんでいる。ピンチはチャンスになるので、ぜひ進めていただきたい。とくに、生徒数も少ないので、コミュニティを広げていくことが大切。語学の壁があるのは大変だが、視覚支援学校はそういう関係を作りやすいと思う。

3年生の修学旅行先では2年とネットワークをつないで交流した。

<専修部>

応用コミュニケーション論の授業の中で、理療科の学生と保健理療科の学生との間でネットをつないで意見交換を行った。

<教職員>

オンライン授業研修を行った。

<その他>

大阪北視覚支援学校などと、オンラインで生徒のつながりができないかは検討中である。

・学校安全

防犯訓練、防災訓練は視覚障がいをもふまえた内容で計画している。

大阪府企画室から、歩きスマホ条例に関して意見聴取があり、視覚障がい者の立場から回答した。

・センター的役割（支援室の活動報告）

臨時休業が長く、その間は支援に行けなかったが、6・7・8月に依頼が多くあった。新年度に就学を悩んでいる学校・保護者から早く支援に来てほしいという依頼が多かった。就学前の療育センター・児童発達センターからも、将来の就職などについて知りたいという相談が多くあった。先日の学校説明会は、たくさんの方が申し込みをしてくれた。地域支援に行ったところからつながって、就学も考えたいというように広がってきている。後期になって、最近では理解啓発の依頼が多くなってきている。11月20日までで支援に117回行っている。学校見学会にも参加してもらって、中学部の就学・入学に結び付いている。今後は理解啓発を、さらに学校全体で進めていきたい。

・学校ホームページ

コンピュータ関係の専門学校に依頼した学校ホームページの作成については、新型コロナの影響によりまったく進んでいない。それとは別に本校独自で動画の作成などを行いホームページを充実させていく。

・専門性の向上

新型コロナの影響でオンライン研修が増えている。これを上手に活用していきたいと考えてい

る。日本弱視教育研究会（沖縄）では、オンライン研修が企画されているが、学校として申込み、教員全員が視聴できるようにした。また、教育センターの研究フォーラムもオンラインでの視聴になっている。ピンチがチャンスとなり、web研修の機会が増えている。

#### ・就学

オープンスクール、学校見学会を行った。

学校見学会では、労働安全課から10名が視察に来られ、つながりをもつことができた。

#### ・実習

専修部では、感染症対策をしながら病院実習を行っている。新型コロナの影響もあったが、高等部では実習できる時期に行うことができた。

### 【報告】

#### （1）学校行事、各学部の概況について（各部主事）

##### <幼小小学部>

オンライン授業で6年生が沖縄盲学校の生徒と交流授業を行った。まるで、一緒にいるような雰囲気、意欲的に参加している。科目も道徳から、算数、国語と広げてきている。先生方の意識向上にも役立っている。ミカン狩り、修学旅行（ホテルの部屋をひとり1室）等、こどもも楽しんで実施することができた。校外学習については、感染対策をしっかりと行いたいと考えている。

##### <中学部>

1学期は学校に慣れる。2学期から自ら動く。「助け合う」をテーマに決めて、2・3年生が1年生を支えあう場面がよくみられた。多感な時期に新型コロナで思うように活動できず、エネルギーがあり余っている。9月から部活動も再開した。音楽発表会も生徒主体で良いものとなった。明るく生活できている。

##### <高等部>

新型コロナ感染症予防のため、感染が拡大してきた先月末より、生徒が1名出席を見合わせている。本日、オンラインでの授業を実施した。先月に行われた学習・報告発表会では、各グループが本番に向けて練習を重ねて、充実した発表ができた。修学旅行は、日程・行き先を変更したが、先週無事行うことができた。担当者と旅行会社が綿密に計画を立てた。ドローンを持って行って、写真撮影を行った。総合的な学習の時間に、1組では選挙について学び、給食メニューのマニフェストを作成し、実際に投票を行ってもらい取り組みを行っている。2、3組では、河内木綿のはたおり工房の方にお越しいただき糸を紡いで物づくりをした。3年生の進路状況は、保健医療科1名、福祉施設1名、職業訓練校1名の予定となっている。

##### <専修部>

新型コロナウイルス感染症対策については、全学科共通して基礎実習および臨床実習、手洗い・手指消毒の徹底等、実現可能な最大限の対応を行っている。実技の授業では、教師の目の前で学生

が手洗いをし、教員が確認することを徹底している。また、使い捨てシーツを購入・使用している。臨時休校明け以降、段階をおって実習をスタートした。クラスメイトと組んでの実習から、校内患者での臨床、その後、外部臨床には1名の患者施術からスタートした。理学療法科は、新型コロナウイルスにより、病院実習が難しいケースが発生したが、なんとか進めている。柔道整復科は、柔道実技は基礎トレーニングからスタートした。座学の授業は良いが、オンラインでの実技指導は難しい面がある。本校では、教員がZoomの使用を研修するとともに、全学生とZoomでつながることができるか機器等接続の確認を行った。授業研修週間では、他の教員の授業を見学して感想をまとめることを実施した。互いの授業を参考にして教員のスキルアップにつながった。12月6日にオープンスクールを企画しているが、個別対応・個別での体験授業を行う予定。

(2) 令和2年度 学級編制について (教務部長)

令和3年度の学級数は、幼稚部1減、小学部1減、中学部3増、高等部増減なし、専修部増減なしで、合計1学級増の見込み。幼児・児童・生徒・学生数は、幼稚部2名減、小学部1名減、中学部5名増、高等部1名減、専修部9名増、合計10名増の見込み。専修部は、1年生が各科5名(計20人)入学するとして計算している。専修部の入学者数によっては、合計数は少なくなる。

次回の会議日程

日時	令和3年2月25日(木) 午前中の予定
場所	府立大阪南視覚支援学校 会議室